



校長より

「総合学科のシステムを活かして」

校長 麦倉 常治



足利南高校は、今年50年目の年を迎えました。来年は創立50周年となります。その中で、本校は平成12年にこれまでの普通科から現在の総合学科に移行され、26年目を迎えます。

では、総合学科の高校とはどんな学習スタイルなのでしょう。総合学科の特徴の主なものは右の囲みの中に示した3点です。皆さんは、本校での学習なれていることかもしれませんが、あえて原点に戻りその中身に触れて、少し説明します。

総合学科の特徴

- 単位制
- 「産業社会と人間」と「課題研究」
- 多様な選択科目

単位制とは、その年度に学習した量と成果により、単位の修得が認められます。卒業までの3年間で、修得した単位が卒業に必要な条件(単位数と必修数など)を満たせば卒業できる制度です。学年制より弾力的な制度となっています。

また、様々な進路ニーズに対応するため、キャリア教育を充実しています。1年次での「産業社会と人間」を原則履修として、社会で生きていくために必要な、職業観や産業への理解、そして自己理解と進路意識の向上などを目的に学習が進められています。さらに、2年次3年次では、生徒が主体的に学ぶ「課題研究」により、探究活動が進められます。

そして多様な選択科目では、それぞれの興味・関心から進路希望などに基づき、2年次からの自分の時間割を作成します。大学進学や専門学校進学、就職など、それぞれがめざす進路先に合わせて自分の学習を進めていきます。

このように足利南高校での学びは、生徒一人ひとりが、自分の良さや強みなどの特徴を積極的に活かした将来の社会生活を意識し、それに必要な力を考え、そしてその力を伸ばして行く主体的な学びがあります。

そして本年度の生徒目標である「夢をつかもう」では、自分のめざす未来の実現に向けて、皆さんには大いなる成長を期待しています。

＜学校組織目標＞
教育の質を高める総合学科
「チーム足南」
～生徒自ら未来を切り拓く力を
育む学校～

＜生徒目標＞
夢をつかもう

1年次より

1学年主任 岡田 智子



入学して3か月が過ぎ、高校での生活にもずいぶん慣れてきた様子が見えます。初めてのことも多い中で、学校生活に前向きに取り組んでくれました。1学期は「産業社会と人間」の授業を通して、自分を知る時間となりました。自分についてよく考え発表し、クラスメイトと意見を交わし合う中で、自身について新たな発見があった生徒もいたようです。また、6月にはスクールインターンシップで、大学や短大、専門学校や企業を訪問しました。実際の様子を見学することで、進路を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

2学期には総合学科ならではの、時間割作成が始まります。時間割を決めるには、自分の希望の進路に進むために何を学んだらいいのか、ということを考えなければなりません。夏休みには進路についてよく考え、オープンキャンパス等に参加して、情報収集をしてほしいと考えています。「好きなこと」にたどり着くためには、早くから行動し、難しいことや苦手なことに挑戦することも大切です。高校3年間で充実させるために、夏休みにはぜひ、ご家庭で進路について話す時間を作っていただきたいと思ひます。

2年次より

2年次主任 天貝 恵美



総合学科の中での基幹となる科目が総合探究です。2年生の総合探究Ⅰの授業ではまず「探究とは何か」ということを学んでいきます。日々の何気ない事柄に疑問を抱くことは、世の中に目を向けることに繋がると考えています。多角的な視点から問題解決の道を探る力こそが、知見を広げることに結びついていくのではないのでしょうか。

2年生は今その第一歩を正に踏み出したところ。今までは問題は与えられるものでした。これからは自ら課題を見出す必要があります。当然のことながら、取り上げる問題はごく身近なものでしかなく、それらを7どう発展させていけばいいのかわからないというのが実情です。探究活動とはどのように進めていけばいいのか、理解を深めたうえで総合探究Ⅱにつなげていきたいと思ひます。

3年次より

「進路実現に向けての取り組み」

3学年主任 柳澤 美紀

この夏、3年生にとって進学や就職など将来の進路実現に向け、本格的に行動を始める重要な時期となります。本校では、就職ガイダンスや進路面談を通じて、生徒一人ひとりの希望や適性に応じた進路選択を支援しています。また、面接練習や小論文指導、模擬試験の実施といった具体的な取り組みにも力を注いでいます。さらに、総合学科の最大の特徴である「総合探究Ⅱ」の課題研究では、生徒が自ら課題を設定し、その解決に挑むことで、多角的な視点から社会で必要とされるスキルを習得します。生徒が自信を持ち、自らの道を選び、将来に向けて前進できるよう、教職員一丸となって全力で支援してまいります。

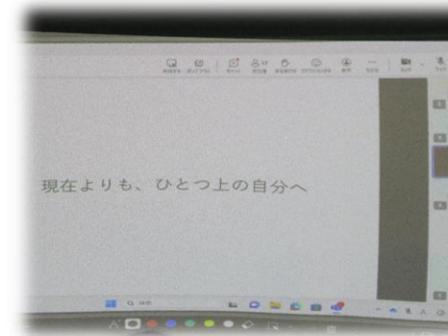


第50回創立記念式典・講演会

教務部副主任 前橋 浩大

6月17日(火)に第50回創立記念式典が行われました。学校長による式辞をはじめ、金井様(同窓会長)、大谷様(同窓会書記)よりご祝辞とご挨拶をいただきました。出席者全員で、本校の校訓「聡く・寛く・健やかに」を見つめ直し、実践していくことを再確認しました。最後に、校歌のDVDを見ながら校歌斉唱し、母校に対する思いを新たにしました。

式典に続く記念講演会では、本校普通科9期生でコミュニケーションプランナー・コピーライターである長竹 直哉様をお招きし、「現在よりも、ひとつ上の自分へ」と題してご講演をいただきました。足南高で過ごされた3年間の思い出をはじめ、自身の成長や夢の実現・目標達成のために大切なことをご自身の経験談を交えながら熱く語っていただきました。進路実現を控えた3年生にとっては、新鮮でためになる内容だったと思ひます。



昨年度の進路状況

進路指導部長 田部井 正代

昨年度卒業生（23期生）の進路状況は以下の通りです。

	卒業生数	国公立大・文	国公立大・理	私立大・文			私立大・理			短期大学			専門学校等	就職	その他
				推薦	総合	一般	推薦	総合	一般	推薦	総合	一般			
男	43	0	0	7	0	1	3	1	0	1	0	0	18	10	2
女	103	1	0	5	0	3	2	2	0	18	1	0	43	26	2
計	146	1		16			8			20			61	36	4
		32													

おもな進路先

[大学]

群馬大学 白鷗大学 関東学園大学 桐生大学 共愛学園前橋国際大学 東京福祉大学 上武大学 駿河台大学 城西大学
日本工業大学 杏林大学 産業能率大学 ZEN 大学 神奈川大学 聖徳大学 和洋女子大学

[短期大学]

佐野日本大学短期大学 國學院大學栃木短期大学 桐生大学短期大学部 埼玉純真短期大学 国際短期大学

[専門学校等]

足利デザイン・ビューティ専門学校 国際テクニカルデザイン☆自動車専門学校 小山歯科衛生士専門学校 マロニエ医療福祉専門学校 公立館林高等看護学院 育英メディカル専門学校 大泉保育福祉専門学校 太田医療技術専門学校 太田情報商科専門学校 東群馬看護専門学校 中央医療歯科専門学校
東京ビジネスアカデミー

[就職]

陸上自衛隊 栃木県警察 足利電装(株) 足利吉田工業(株) 菊地歯車(株) バンドー化学(株) 浜井産業(株) 足利工場 南日本運輸倉庫(株) (株) レンタルのニッケン 竹内産業(株) (株) ワールドステイ (株) あわしま堂(株) ネクスコ東日本エリアサポート 東京食品(株) 佐野工場 (株) Genki Global Dining Concepts (株) 金吾堂製菓(株) かくだや(株) テラ ハッピーライフケア(株) (株) SUBARU 群馬製作所 (株) プラスチックホンダ館林工場 UDトラックス(株) シーピー化成(株) (株) サロン・ド・ジュン

特色ある授業

「日本史探究 出前授業」

地歴公民科主任 後藤 千春

日本史探究の授業では、6月16日足利市教育委員会文化課の学芸員佐藤弘さんをお招きして「発掘調査の結果からみた足利の歴史（原始・古代）」というテーマで出前講座を開催しました。

足利の先土器時代から古墳時代の遺跡についてたくさんの資料や写真でご説明いただきました。特に多くの生徒が利用している県立足利市の「あがた駅南遺跡」の出土品については土偶や土版、耳飾りなどがたくさん出土しているというお話でした。今後はこの遺跡から出土した「耳飾り」について探究し、情報科の協力のもと、3Dプリンタでの復元に挑戦していく予定です。



広報担当より

今年度も、随時ホームページを更新していきます。ホームページでは、部活動紹介や授業紹介をはじめ、学校行事や日常の様子、季節の移り変わりを綴る「足南通信」など、情報を発信していく予定です。また、「教育相談だより」や「保健だより」などのコンテンツもアップしています。ホームページを訪れて、いまの足利南高校をぜひご覧ください。



発行：栃木県立足利南高等学校 教務部広報係
TEL：0284-72-3119(事務室) FAX：0284-73-2772
TEL：0284-72-3118(職員室)
<https://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc3/>

